

Q 次代の建築物や都市の設計
に必要とされるものとは？



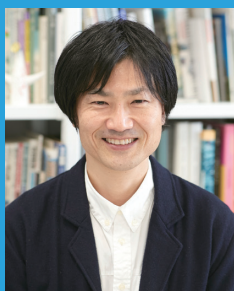
**利用する人々が健康になれる設計など、
より快適性を追求した設計が求められるはず。**

**さまざまな観点から、快適な建築環境
を追求する「建築環境工学」。**

研究室のテーマは、「建築環境工学」。たとえば、室温や湿度が全く同じであっても、太陽の光があたり続ける場所では暑と感じ、そうでない場所では寒と感じるなど、人間がその環境を快適だと感じるかどうかには、さまざまな要因が関わっています。そこで、いろいろな環境下において人間がどう感じるか調査を重ねて「人が快適と感じるのは、どんな環境なのか」分析しています。さらに、暑がりの人がいれば、寒がりの人もいるように、快適だと感じる環境は人によっても差があります。たとえば同じ空間でもエリアごとに温度を調整できるような仕組みを検討するなど、あらゆる観点から建築物や都市の設計に活かす方法についても探っています。

**健康や仕事効率まで考慮した
本当の快適さを追求。**

たとえば住宅を新築する際、つつい見た目のデザインや暮らすうえで一般的な機能性ばかりが目立がち。しかし設計にはそのほかにも耐震性や省エネ性など、考慮しなければいけないことがたくさんあります。加えて近年では、たとえば人々の健康や、その空間での仕事効率を考慮して空調を整備するなど、より高度な設計が求められるように。都市設計においても、たとえば人々が熱中症にならないように木陰をつくらせたり、風の通り道に配慮して都市を整備するなど、今まで以上にさまざまな配慮が求められるようになってきています。このような背景から「人間にとって本当の意味で快適な環境」を考えて追求していくことは、非常に重要です。



石井 仁 先生

Ishii Jin

両親から薦められたことに加え、小さいころから絵画をはじめ芸術が好きで、建物もつ芸術性に興味があったので建築を専攻。大学時代の研究室の恩師に影響を受け、「建築環境工学」の研究をはじめから、この道一筋で探求を続けています。

私の気分転換



**飛行機フィギュア
コレクションを眺めて一息。**

飛行機に乗るのも見るのも好きだったので、趣味として飛行機のフィギュアを集めることに。まだコレクション数は多くないのですが、空き時間に眺めては、空に思いを馳せる(笑)というのが、最近のリラックスタイムになっています。